

## ESG 基本方針（サステナビリティ基本方針）

2024年5月29日 制定

2025年7月1日 改定

### 1. 基本理念とビジョン

一般社団法人 ASCM COMMUNITY JAPAN (以下、「ACJ」という)は、「Link supply chains with the Standard (世界標準の SCM をすべての人々に)」というビジョンのもと、サプライチェーン・マネジメント (SCM) の普及を通じて、持続可能な社会経済システムと自然環境の調和を目指します。当法人の ESG 活動は、定款に定められた「持続可能でより良い世界の実現に寄与すること」という目的を事業の根幹に据え、経済的価値のみならず、環境保護 (E)、社会的公正 (S)、透明性の高いガバナンス (G) を統合的に追求するものです。

### 2. コミットメントと対象範囲

ACJ は、国連グローバル・コンパクト (UNGC) の 10 原則を支持し、人権、労働、環境、腐敗防止の各分野において責任ある行動をとることを宣言します。本方針は、当法人のすべての役員、共に働く人々、および教育コンテンツのパートナーや教材調達先を含むバリューチェーン全体を適用範囲とします。

### 3. マテリアリティ（重要課題）の特定

ACJ は、事業特性に基づき以下の項目を最優先課題として管理します。

- **環境 (E)** : SCM を通じた環境負荷低減の啓発、および事業運営におけるデジタル化による資源効率化。
- **社会・人権 (S)** : 社会人教育を通じた高度な専門スキルの提供、多様な実務家コミュニティの育成、および公正な労働慣行。
- **ガバナンス (G)** : 倫理的な教育・情報発信、腐敗防止、および代表理事による ESG 監督体制の確立。

### 4. 推進体制とガバナンス

代表理事（理事長）である行本顕を最高責任者とし、ESG 方針の策定、実施状況の監督、および年 1 回の定期的なレビューを行います。そして、法人の社会的責任を果たすためのリソース配分を最優先し、透明性の高い経営を維持します。

### 5. ステークホルダー・エンゲージメント

ASCM 等の国際機関や実務家コミュニティ、提携団体との対話を通じて、常に世界の最新トレンドを反映した ESG 経営を追求します。

### 6. 目標（定量・定性）

2030 年までに、すべての SCM 教育プログラムにサステナビリティの要素を組み込み、受講者の啓発を促進します。

本方針は、法令遵守はもとより、SCM の専門家集団として「社会に貢献するサプライチェーン」の構築をリードすることを約束するものです。

一般社団法人 ASCM COMMUNITY JAPAN

理事長 行本 顕

